

市立豊中病院長 殿

説明医 \_\_\_\_\_ 印 同席者 \_\_\_\_\_ 印

私は、上記医師より上部消化管内視鏡検査に関する内容等について十分な説明を受け、内容を理解しましたので、その実施に同意いたします。

**説明内容**

上部消化管内視鏡検査はあなたの消化管の中を直接内視鏡にて観察し、細心の注意を払いながら診断を行う方法です。検査中に何か異常が見られたり、また疑われた場合には必要に応じ次のような事が行われます。

- 1) 粘膜組織の一部を鉗子でつまみ（生検）、組織（細胞）の検査を行います。
- 2) 病変部位に安全な色素を散布し（色素散布）、病変を明瞭にして診断の助けとします。
- 3) 出血などが見られた場合には止血操作（内視鏡止血）を行います。

内視鏡検査の危険性としては次のようなことが報告されています。

- 1) 内視鏡による粘膜障害（粘膜亀裂）や裂傷、穿孔
- 2) 生検による出血（肝、腎障害等、止血機能の悪い方は危険度が高くなります。）
- 3) 前処置などの薬剤によるアレルギー、血圧変化、顔面紅潮など
- 4) 検査前にあった疾患の悪化など
- 5) その他予期せぬ容態の変化

精密な検査ほど偶発症の頻度が増加します。日本内視鏡学会が調査した全国集計（2000年）によるとその頻度は0.007%、死亡率0.00045%でした。万一偶発症が発生したときは、外科処置を含め最善の処置をいたします。

血をさらさらにするお薬を内服されている方は、手術前にそのお薬を中止する必要があります。

(ID: \_\_\_\_\_) 平成 年 月 日

患者様署名 \_\_\_\_\_ 印 親族（続柄） \_\_\_\_\_ 印

代理人 \_\_\_\_\_ 印

\*捺印は、署名が直筆であれば省略できます。

市立豊中病院長 殿

説明医 \_\_\_\_\_ 印 同席者 \_\_\_\_\_ 印

私は、上記医師より上部消化管内視鏡検査に関する内容等について十分な説明を受け、内容を理解しましたので、その実施に同意いたします。

**説明内容**

上部消化管内視鏡検査はあなたの消化管の中を直接内視鏡にて観察し、細心の注意を払いながら診断を行う方法です。検査中に何か異常が見られたり、また疑われた場合には必要に応じ次のような事が行われます。

- 1) 粘膜組織の一部を鉗子でつまみ（生検）、組織（細胞）の検査を行います
- 2) 変部位に安全な色素を散布し（色素散布）、病変を明瞭にして診断の助けとします。
- 3) 血などが見られた場合には止血操作（内視鏡止血）を行います。

内視鏡検査の危険性としては次のようなことが報告されています。

- 1) 鏡による粘膜障害（粘膜亀裂）や裂傷、穿孔
- 2) 生検による出血（肝、腎障害等、止血機能の悪い方は危険度が高くなります。）
- 3) 前処置などの薬剤によるアレルギー、血圧変化、顔面紅潮など
- 4) 検査前にあった疾患の悪化など
- 5) その他予期せぬ容態の変化

精密な検査ほど偶発症の頻度が増加します。日本内視鏡学会が調査した全国集計（2000年）によるとその頻度は0.007%、死亡率0.00045%でした。万一偶発症が発生したときは、外科処置を含め最善の処置をいたします。

血をさらさらにするお薬を内服されている方は、手術前にそのお薬を中止する必要があります。

(ID: \_\_\_\_\_) 平成 年 月 日

患者様署名 \_\_\_\_\_ 印 親族（続柄） \_\_\_\_\_ 印

代理人 \_\_\_\_\_ 印

\*捺印は、署名が直筆であれば省略できます。